

芸術

701書道 I

学習の到達目標	①(知識、技能の習得)書の表現の形式や方法、多様性などについての幅広い理解、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき効果的に表現するための基礎的、発展的な技能を身につける。 ②(思考力、判断力、表現力等の育成)書の良さ美しさを感じ、意図に基づいた構想や表現の工夫、書の伝統と文化の意味を思考し、書の美や味わいを感じできるようにする。 ③(学びに向かう力、人間性等の涵養)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を楽しむ心を育てるとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創出する。
-----------------------	--

レポート No	教科書ページ	レッスン	評価の3観点		
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C
No.1	P2～P9	書写から書道へ	・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・目的や用途に即した効果的な表現、楷書と仮名や行書と仮名の調和した線質による表現を身に付けている。	・中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。	・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
No.2	P10～P37	漢字の書 漢字の成立と変遷 古典に基づく学習 楷書	・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 ・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。	・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	・自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。
No.3	P38～P58	行書	・行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。	・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ・行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	・自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。
No.4	P59～P73	草書 隷書 篆書	・草書・隷書・篆書の各古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・草書・隷書・篆書の各古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。	・草書・隷書・篆書の各古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ・草書・隷書・篆書の各古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	・自身の表現の意図に基づく表現、草書・隷書・篆書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・草書・隷書・篆書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。
No.5	P74～P103	仮名の書	・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 ・仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。	・仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	・仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。 ・自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。

No.6	P104～P138	漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字	・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆を生かした表現や現代生きる表現との関わりについて理解している。 ・線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現。	・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	・書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。 ・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名；交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。
------	-----------	--------------------	---	---	---

正しい姿勢を養う。

学習のポイント
○中学校の書写で学習したことの確認をする。
○楷書・行書の基本、書く際の配列の基本を学ぶ。
○書道で使用する「用具・用材」について学ぶ。
○基本の姿勢や執筆法を学び、書く作品により、使い分ける必要があることを学ぶ。
○漢字の成立と変遷について学ぶ。
○漢字の書の学習は古典を知り、学ぶことから始まることを理解する。
○楷書の特徴について学ぶ。
○代表的な楷書作品の人物と時代、作品の概要について学ぶ。
○行書の学習について、中学校で学習した基礎部分から高等学校書道科で学ぶ行書の特徴を理解する。
○代表的な行書作品の人物・時代・作品の概要について学ぶ。
○草書・隸書・篆書、それぞれの成立・特徴について学ぶ。
○創作とは何か、創作の手順を学び、自分の作品を作ってみる。
○鑑賞の観点を学び、鑑賞をする。
○仮名の成立について学ぶ
○平仮名の単体、変体仮名、連綿について学ぶ
○仮名の古筆作品について、作品の概要・時代と人物を学ぶ。
○古筆の種類について学ぶ

○漢字仮名交じりの書の表現について学ぶ。

○生活の書について学ぶ。

○篆刻・刻字について学ぶ。

芸術

701書道Ⅱ

学習の到達目標	①(知識、技能の習得)書の表現の形式や方法、多様性などについての幅広い理解、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき効果的に表現するための基礎的、発展的な技能を身につける。 ②(思考力、判断力、表現力等の育成)書の良さ美しさを感得し、意図に基づいた構想や表現の工夫、書の伝統と文化の意味を思考し、書の美や味わいを感得できるようにする。 ③(学びに向かう力、人間性等の涵養)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創出する。
-----------------------	--

レポート No	教科書ページ	レッスン	評価の3観点		
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C
No.1	P3～P21	漢字の書 篆書 篆刻・刻字	表現 ・篆書を構成する様々な要素について理解している。 ・篆書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 鑑賞 ・篆書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・篆書の特質とその歴史について理解している。 ・篆書の美と時代、風土、筆者などの関わりについて理解している。 ・篆書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 表現 ・印や刻字を構成する様々な要素について理解している。 ・印や刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 鑑賞 ・印や刻字の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本及び中国等の印の伝統と文化について理解している。 ・印の特質とその歴史について理解している。 ・印や刻字の美と時代、風土、筆者などの関わりについて理解している。 ・印の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・印や刻字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。	表現 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、篆書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 鑑賞 ・篆書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 表現 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、印や刻字の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 鑑賞 ・歴史的な印や刻字の価値とその根拠について考え、印や刻字のよさや美しさを味わって捉えている。	表現 ・自身の表現の意図に基づく表現。篆書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 鑑賞 ・篆書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。 表現 ・自身の表現の意図に基づく表現。印や刻字の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている 鑑賞 ・印や刻字のよさや美しさを甘受し、印や刻字の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。
No.2	P22～P29	漢字の書 隷書	表現 ・隷書を構成する様々な要素について理解している。 ・隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 鑑賞 ・隷書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・隷書の特質とその歴史について理解している。 ・隷書の美と時代、風土、筆者などの関わりについて理解している。 ・隷書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・隷書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。	表現 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、隷書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 鑑賞 ・隷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	表現 ・自身の表現の意図に基づく表現。隷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 鑑賞 ・隷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。
No.3	P30～P39	漢字の書 草書	表現 ・草書を構成する様々な要素について理解している。 ・草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 鑑賞 ・草書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・草書の特質とその歴史について理解している。 ・草書の美と時代、風土、筆者などの関わりについて理解している。 ・草書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・草書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。	表現 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、草書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 鑑賞 ・草書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	表現 ・自身の表現の意図に基づく表現。草書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 鑑賞 ・草書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。
No.4	P40～P56	漢字の書 行書 楷書	表現 ・行書を構成する様々な要素について理解している。 ・行書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 鑑賞 ・行書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・行書の特質とその歴史について理解している。 ・行書の美と時代、風土、筆者などの関わりについて理解している。 ・行書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・行書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 表現 ・楷書を構成する様々な要素について理解している。 ・楷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 鑑賞 ・楷書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・楷書の特質とその歴史について理解している。 ・楷書の美と時代、風土、筆者などの関わりについて理解している。 ・楷書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・楷書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。	表現 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、行書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 鑑賞 ・行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 表現 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、楷書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 鑑賞 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	表現 ・自身の表現の意図に基づく表現。行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 鑑賞 ・行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。 表現 ・自身の表現の意図に基づく表現。楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 鑑賞 ・楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。

No.5	P57～P80	仮名の書	表現 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 ・仮名の書の古典の特徴と用筆・達筆との関わりについて理解している。 鑑賞 ・仮名の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・仮名の書の特質とその歴史について理解している。 ・仮名の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 表現 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 ・仮名の書の古典の特徴と用筆・達筆との関わりについて理解している。 鑑賞 ・仮名の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・仮名の書の特質とその歴史について理解している。 ・仮名の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 ・仮名の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。	鑑賞 ・仮名の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 表現 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、仮名の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 鑑賞 ・仮名の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	表現 ・自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 鑑賞 ・仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。 表現 ・自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 鑑賞 ・仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。
No.6	P81～P106	漢字仮名交じりの書	表現 ・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 ・名筆や現代の様々な書の表現と用筆・達筆との関わりについて理解している。 鑑賞 ・漢字仮名交じりの書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本の文字と漢字仮名交じりの書の伝統と文化について理解している。 ・漢字仮名交じりの書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 表現 ・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 ・名筆や現代の様々な書の表現と用筆・達筆との関わりについて理解している。 鑑賞 ・漢字仮名交じりの書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本の文字と漢字仮名交じりの書の伝統と文化について理解している。 ・漢字仮名交じりの書の特質とその歴史について理解している。 ・漢字仮名交じりの書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 表現	表現 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字仮名交じりの書の目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 鑑賞 ・漢字仮名交じりの書の作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 表現 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 鑑賞 ・漢字仮名交じりの書の作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 表現 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 鑑賞 ・漢字仮名交じりの書の作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	表現 ・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 鑑賞 ・漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。 表現 ・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 鑑賞 ・漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。

る。

まする姿勢を養う。

学習のポイント

- ①篆書について理解している。
- ②篆書について理解し、判断することができる。
- ③篆刻について理解し、臨書することができる。
- ④篆刻について理解している。
- ⑤刻字について理解し、活用することができる。

- ①隸書について理解している。
- ②隸書の成立と種類について理解し判断できる。
- ③隸書の古典作品について理解している。
- ④隸書の古典作品を理解、判断し、臨書できる。
- ⑤書写材料の変遷を理解している。

- ①草書について理解している。
- ②草書の成立と種類について理解し判断できる。
- ③草書の古典作品について理解している。
- ④草書の古典作品を理解、判断し、臨書できる。
- ⑤時代による草書の変化について理解している。

- ①行書について理解している。
- ②行書の古典作品について理解している。
- ③楷書について理解している。
- ④楷書の古典作品について理解している。
- ⑤創作について理解している。
- ⑥創作の手順について理解している。
- ⑦鑑賞の観点について理解し、鑑賞することができる。

- ① 仮名について理解している。
- ② 仮名の成立・写本について理解している。
- ③ 仮名の古筆について理解している。
- ④ 仮名の古筆の作品・特徴を理解し、臨書できる。
- ⑤ 仮名の様式について理解している。
- ⑥ 料紙について理解している。

- ① 漢字仮名交じりの書について理解している。
- ② 漢字仮名交じりの書の表現について理解している。
- ③ 言葉と書の調和について理解している。
- ④ 漢字仮名交じりの書を創作できる。
- ⑤ 言葉を手書き文字で伝える効果がわかる。